



全自交東京

全国自動車交通労働組合
 東京地方連合会
 〒151-0051東京都渋谷区千駄ヶ谷3-7-9
 TEL03-3408-0876
 FAX03-3408-0880
 発行責任者 書記長 本田明広

交運労協 6.7 総決起集会

交運労協は6月7日、港区の田町交通ビルにて「公共交通を守り雇用破壊を許さない6・7総決起集会」と題し、ライドシェア新法阻止の集会を開催しました。集会に先立ち田町駅前にて交運労協ハイタク部会による街宣行動を実施し、立憲民主党の森隆参議院議員にも駆けつけていただき、勤め帰りの通勤人などに向け、ライドシェア新法阻止と雇用破壊の危険性をアピールしました。

17時より田町駅前にて行われた街宣行動には、交運労協ハイタク部会から130人が参加し、「危険な白タクを合法化するライドシェア新法絶対阻止」「雇用と安全を破壊するな」と書かれたプラカードを掲げ、通勤人にオリジナルハンカチを配り、ライドシェアの危険性を訴えました。

その後、田町交通ビルに場所を移して行われた集会には、交運労協に加盟する全産別労組から300人が集結しました。

冒頭、交運労協の住野俊彦議長は挨拶の中で「ライドシェア阻止に向け、交運労協全体で運動を展開していく。タクシーだけの問題ではなく、陸・海・空・観光サービス産業が一丸となり、60万人が

先頭に立つということが一番大事だ」とライドシェア新法阻止への結集を呼びかけました。続いての慶島譲治事務局長の基調報告では「規制改革推進会議の答申は妥協の産物であり、一時の休戦協定にしか過ぎない」さらに「ライドシェア新法の

「規制改革推進会議の答申は妥協の産物であり、一時の休戦協定にしか過ぎない」さらに「ライドシェア新法の

根拠となるタクシーの供給力不足は、都市部を中心に乗務員も着実に増加し解消されつつある。したがって、プラットフォームの自由な参入を認めるライドシェア新法は立法事実そのものが存在しない」と指摘しました。



ライドシェア新法阻止への決意があらわれた団結ガンパロー



全自交労連としての決意表明する本田書記次長

ハイタク関連差別の代表者の決意表明では、全自交労連からは本田有書記次長が登場し、決意表明の中で「コロナ禍で、目に見えない恐怖を抱え、充分とはいえない感染防止対策の車両で、いつ乗車し

て頂けるかわからない中で仕事を続ける苦しい毎日を、エッセンシャルカーとして精一杯務めました」「その後の需要回復や運賃改定による賃金改善の兆しで、ようやくコロナ禍で受けた傷を癒すこ

とができると思った矢先、一部の人間たちがいわゆるライドシェア新法を作ってまで導入しようとしています」「推進派はわれわれを既得権益者と呼ぶが、それなら何故タクシー事業者の多くが赤字経営なのか、なぜドライバーの賃金が全産業の平均以下なのか。私に言わせれば、ライドシェア推進派こそが新たな利権を獲得しようとする国賊だ」と述べ、感情のこもった決意表明を行いました。

今回の講演には、全自交労連書記局より、野尻雅人中央書記長と津田光太郎中央書記次長のお二人をお招きいたしました。

講演一部では野尻雅人書記長より「全国における日本版ライドシェアの現状」と題し、道路運送法78条3号による「自家用車活用品」の解説と実施状況さらに同法78条2号における交通空白地への対応についての解説して頂きました。



主催者を代表しての挨拶をする内田亨執行委員長

関係紙づくりの基礎を、全自交労連で実際に機関紙『全自交しんぶん』を作成しています。津田光太郎書記次長に「簡単な機関紙制作について」と題し、機関紙づくりの基礎を、ご自身の経験を交えなが



機関紙づくりの基礎を丁寧に説明する津田書記次長



ライドシェアについて講演する野尻書記長

ら、わかりやすく講演していただきました。出席者は真剣に聞き入り、機関紙作成への関心の高さがうかがえました。

また後半での質疑応答では、実際の現場での機関紙作成にまつわる質問が相次ぎ、津田書記次長は、それぞれに丁寧に回答して頂きました。



研修は13時の定刻に、掛川正二東京地連副執行委員長による開会挨拶で始まり、続いて座長には、京王自動車労働組合の須藤正己氏が指名されました。

はじめに主催者を代表し内田亨執行委員長より挨拶があり「今回の講師である全自交労連書記局のお二人の英知をしっかりと学んでいって頂きたい」と述べました。

研修は13時の定刻に、掛川正二東京地連副執行委員長による開会挨拶で始まり、続いて座長には、京王自動車労働組合の須藤正己氏が指名されました。

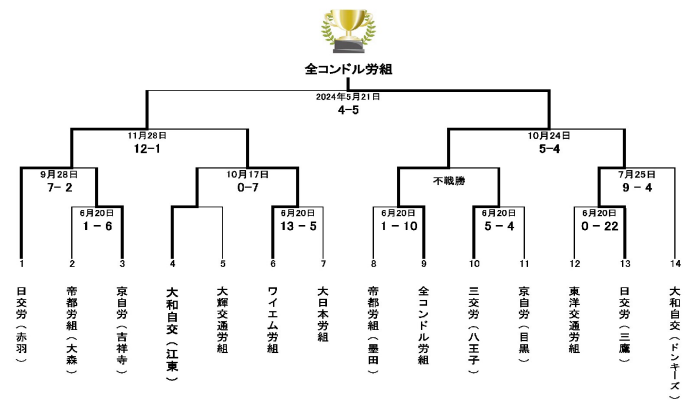
研修は13時の定刻に、掛川正二東京地連副執行委員長による開会挨拶で始まり、続いて座長には、京王自動車労働組合の須藤正己氏が指名されました。

全自交東京地連第2回野球大会



全コンドル労組チームが2連覇

2023年全自交東京地連第2回野球大会



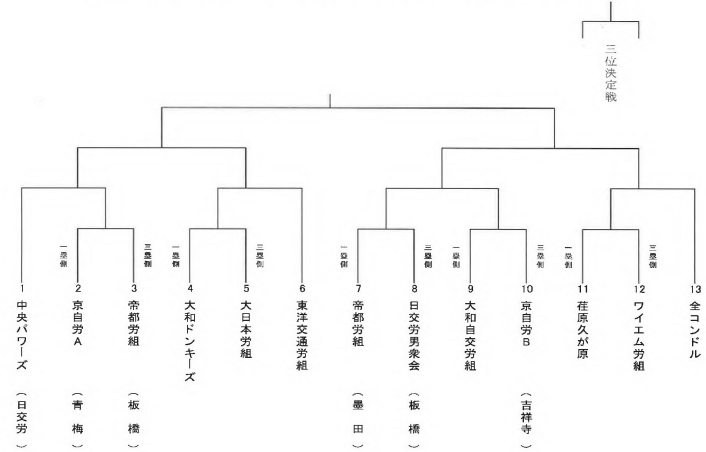
昨年6月20日よりの熱戦全13試合の対戦結果

6月19日開催予定の、2024全自交東京地連第3回野球大会の開会式を兼ねた開幕戦は、前日に降り続いた雨の影響でのグラウンド不良のため、残念ながら中止となってしまいました。今後の試合実施は対戦チーム同士で日程場所を決定し、東京地連まで指定の用紙にて、必ずFAXにてご報告をお願い致します。

東京地連第3回野球大会開幕 開会式は天候不良で中止に



2024全自交東京地連 第3回野球大会 組み合わせ



労働組合の意義について講演する久我書記次長

全自交平和交通労働組合 組合員集会

5月27日、全自交平和交通労働組合は組合員集会を開き、東京地連から久我恒夫書記次長を招き、「労働組合の必要性」と「ライドシェアの実状」について講演を行いました。質疑では活発に手が上がり、出席された組合員さんにとって、大変有意義な集会となりました。

豊島区AIオンデマンド交通

収支率改善せず継続運行は困難

6月28日、豊島区役所にて行われた、第30回豊島区地域公共交通会議の中で、区側から豊島区大塚地区におけるAIオンデマンド交通(mobi)の実証運行についての報告がされました。令和4年よりAIオンデマンド交通による実証実験をCM社が主体となって行っており

ましたが、協議が整うまでに至りませんでした。さらに令和5年度以降は豊島区が主体となり、改善および分析を深めながら一年間延長して実証運行を継続し、本格運行のための道路運送法第4条許可申請へ移行するの可否かを検証してきました。今回の報告では、「収支は指標値に届かず、公費なしでの継続運行は困難」本地区における条件下では、継続運行することは困難とし、本格運行を行うための道路運送法第4条許可申請を行わないこととしました。かねてより東京地連では、この地域での運行の必要性を疑問視する指摘しておりましたが、今後は、7月1日以降に地元町会や豊島区議会報告(副都心委員会)を経て、令和6年8月31日をもって実証運行を終了します。

東京都議会補欠選挙結果

東京都知事選に合わせ都議補欠選挙も7日に投票され、8選挙区に候補を擁立した自民党は6選挙区で敗退しました。全自交東



京地連は、都知事選に蓮舫氏、都議補欠選挙に足立区の銀川ゆい子氏、品川区の菅原千稲氏を推薦しました。都知事選、品川区では惜敗しましたが、足立区では接戦の末見事、自民党候補を破り当選しました。自民党は、9選挙区で行われ公認候補を擁立した8選挙区のうち2議席しか獲得できず、2勝6敗と惨敗し、選挙前には5議席をあっ

西北地区連絡会議



新調した揃いのベストを着用して清掃活動する西北地区連の面々

全自交東京地連西北地区連絡会議は、5月27日に曇天の中、池袋東口タクシープールにおいて、11名が参加しての清掃活動を行いました。今回西北地区連絡会議では、活動を広くアピールするため、新しく揃いのベストを新調いたしました。西北地区連では、今後も継続的に地域各所のタクシープールなどにて、清掃活動を実施していく予定です。